



## **SIOS DataKeeper Cluster Edition**

**v8.4**

**リリースノート**

**2016年10月**

このドキュメントおよびその内容は SIOS Technology Corp. (旧称 SteelEye® Technology, Inc.) の所有物であり、いかなる無許可での使用および複製も禁じます。SIOS Technology Corp. はこのドキュメントの内容に関していかなる保証も行いません。また、事前の通知なくこの出版物を改訂し、本書に記載された製品に変更を加える権利を保有しています。最新のテクノロジー、コンポーネント、およびソフトウェアを使用して製品を改善するのが SIOS Technology Corp. の方針です。そのため、SIOS Technology Corp. は事前の通知なく仕様を変更する権利を保有しています。

LifeKeeper、SteelEye、および SteelEye DataKeeper は SIOS Technology Corp. の登録商標です。

本書で使用されるその他のブランド名および製品名は識別のみを目的としており、各社の商標である場合があります。

出版物の品質を維持するために、このドキュメントの正確さ、わかりやすさ、構成、および価値に関するお客様のご意見をお寄せください。

宛先:

ip@us.sios.com

Copyright © 2015

By SIOS Technology Corp.

San Mateo, CA U.S.A.

All rights reserved

# 目次

---

<b>SIOS DataKeeper Cluster Edition</b> .....	<b>1</b>
はじめに .....	1
<b>SIOS DataKeeper Cluster Edition v8 の新機能</b> .....	<b>1</b>
.....	3
<b>バグの修正</b> .....	<b>3</b>
<b>製品定義とプラットフォーム</b> .....	<b>4</b>
製品要件 .....	4
<b>ローカルセキュリティポリシーの要件</b> .....	<b>5</b>
<b>既知の問題</b> .....	<b>5</b>
SCVMM 2012 .....	5
Windows Server 2012 .....	5
<b>DataKeeper Cluster Edition クイックスタートガイド</b> .....	<b>6</b>

# SIOS DataKeeper Cluster Edition

## リリースノート

## バージョン 8.4

(Version 8 Update 4)

### 重要!!

本製品をインストールまたは使用する前に、必ずこのドキュメントをお読みください!  
このドキュメントには、インストール時とその前後に留意すべき重要な項目に関する情報が記載されています。

## はじめに

SIOS DataKeeper Cluster Edition は最適化されたホストベースのレプリケーションソリューションとして Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、および Windows Server 2008 R2/2008 R2 SP1 Failover Clustering とシームレスに連携します。Windows Server Failover Clustering の機能である、サブネットを経由したフェイルオーバーや調整可能ハートビートパラメータにより、管理者が地理的に分散したクラスタを管理するのが容易になります。SIOS DataKeeper は、両方のバージョンの Windows Clustering を拡張するデータレプリケーション機能により、共有されないディスクの高可用性構成をサポートします。

SIOS DataKeeper Cluster Edition をインストールすると、DataKeeper ボリュームと呼ばれる新しいストレージクラスリソースタイプを使用できるようになります。この新しい SIOS DataKeeper ボリュームリソースを従来の物理ディスクの共有ストレージリソースの代わりに使用することで、マルチサイトクラスタとも呼ばれる地理的に分散したクラスタが可能になります。

## SIOS DataKeeper Cluster Edition v8 の新機能

機能	説明
本リリース (8.4) の新機能	
<a href="#">DataKeeper Volume Resource Health Check</a>	もし、ボリュームに到達できなくなるとDataKeeperボリュームリソースヘルスチェックが決定するようになりました。
ターゲットビットマップファイル	ターゲットの書き込みがビットマップファイルで追跡されるようになりました。
全体的なメンテナンス	下記の <a href="#">バグ修正</a> を参照してください。
バージョン 8.3 の新機能	

機能	説明
DataKeeper の通知アイコン	DataKeeper の通知アイコンは、Windows の通知トレイで DataKeeper ミラーのサマリを表示します。また、DataKeeper ミラー管理のショートカットとして、使用可能です。
mirrorcleanup.cmd	このコマンドは、ローカルシステム上のみで、選択されたボリュームの残りすべてのミラーを削除します。SIOS サポートによって推奨された場合のみ実行してください。
Powershell cmdlet サポート	ジョブの作成、ミラーの作成、ジョブの削除、ミラーの削除、または DataKeeper (New-DataKeeperMirror、New-DataKeeperJob、Remove-DataKeeperMirror、Remove-DataKeeperJob、Add-DataKeeperJobPair、Get-DataKeeperVolumeInfo) で使用されるボリュームについての情報を取得するのに Powershell cmdlet が使用可能になりました。
DKHEALTHCHECK	ステータスと問題の識別ツールをサポートしました。基本のミラーステータスと問題検知のためのコマンドラインインターフェースを提供します。
全体的なメンテナンス	下記のバグ修正を参照してください。
<b>バージョン8.2.1の新機能</b>	
全体的なメンテナンス	バグ修正
<b>バージョン8.2の新機能</b>	
DataKeeper 非ミラーリングボリューム・クラスタリソース	DataKeeper 非ミラーリングボリューム・クラスタリソースでは、ユーザーは、フェイルオーバークラスタのローカルボリュームをミラーの一部とすることなく使用することができます。本機能の一般的な使用例としては、既存のハードウェア上で OS のローリング・クラスタ・アップグレードを実現したり、tempdb を SQL 2008 R2 クラスタ、および、より古いバージョンのローカルストレージに移動させることも可能です。
全体的なメンテナンス	バグ修正
<b>バージョン 8.1 の新機能</b>	
全体的なメンテナンス	バグ修正
<b>バージョン 8.0.1 の新機能</b>	
全体的なメンテナンス	バグ修正
<b>バージョン 8.0 の新機能</b>	
クラスタ外ノードへのレプリケーション	DataKeeper はフェイルオーバークラスタの外側にレプリケーションターゲットを置くことができます。
オペレーティングシステムサポート	DataKeeper は Windows 2008R2 以降の 64 ビットオペレーティングシステムのみをサポートします。以前のバージョンの Windows または 32 ビットシステム上で実行するには、DataKeeper v7 を使用してください。
Windows 2012 R2 サポート	DataKeeper Windows 2012 R2 をサポートします。

機能	説明
全体的なメンテナンス	バグ修正

## バグの修正

以下に、最新のバグの修正および機能強化のリストを示します。

バグ	説明
2663	UI立ち上げ時に新しい初期化ステータスメッセージを表示
3568	オンライン中にネットワークが再接続された場合には、DataKeeperのオンラインボリュームを fail させない
3701	遅いネットワークを使用の場合のスイッチオーバー速度を向上
3734	再同期時の不良セクターのハンドリングを改善
3909	Distributed Link Tracking Clientを無効にするためのSilent Installを改善
3925	ボリュームデバイス取り外しのハンドリングを改善
3931	Remote Target (RT)コマンドを実行時にemdrvcmdが出力を停止可能に変更
3957	ボリュームが適切にNTFS向けにフォーマットされていない場合の、emcmd ispotentialmirrorvol command用のエラーメッセージを改善
3958	クラスターボリュームへのスプリットブレイン通知を無効化
3977	プログラムのアンインストールまたは変更に表示される、DataKeeperおよびSPS-WIに変更のオプションが表示されるように修正
4053	"EmSP" pool tagのアロケーション失敗のハンドリングを改善
4065	再起動後のターゲットボリュームでのメモリリークを改善
4066	再同期スループットをコントロールし、WriteQueueLowWaterをデプリケートできるように、ResyncReads機能を追加
4068	ユーザーが管理者でない場合のLicense ManagerのEmTrayからの起動を改善
4074	EmTrayでのsplit brain\current status 通知を改善
4075	DKHealthCheckでのsplit brain\current status通知を改善
4076	切断されたネットワーク接続がリストアされる際のミラーの一貫性を改善
4079	ビットマップファイルでのターゲットへの書き込みのトラッキング機能を追加
4080	dksupportおよびkksupportログファイルへmountvol出力を追加
4081	DataKeeper support logへのMicrosoft systeminfo出力を追加

バグ	説明
4082	DataKeeper Volume Online でのchkdskの取り扱いを改善しました
4085	cluster health checks 機能を追加
4100	SQLデータベースのリストア中のレプリケーション性能を改善
4107	chkdskがcompleteするまで長時間になってもオンラインクラスタを fail させない
4113	NTFSファイルシステムでフォーマットされたボリュームにのみTRUEをレポートするようEMCMD ISPOTENTIALMIRRORVOLを改善
4117	ミラー再同期中のディスク書き込み性能を改善
4119	再同期およびシーケンシャル書き込み時のレプリケーションスループットを改善
4128	512MB未満のミラーボリュームを作成しようとした場合のBSODの発生を修正

## 製品定義とプラットフォーム

### 製品要件

製品	オペレーティングシステム	追加ソフトウェア
サーバ コン ポーネ ント	<a href="#">DKCE サポートマトリックス</a> を参照	Hotfix - KB 951308  <a href="http://support.microsoft.com/kb/951308">http://support.microsoft.com/kb/951308</a>  Hyper-V リソースを保護する場合 Hotfix KB 958065  <a href="http://support.microsoft.com/?id=958065">http://support.microsoft.com/?id=958065</a>  <b>注記:</b> これらの Hotfix は、Windows Server 2008 R2/2008 R2 SP1 には必要ありません。  <a href="#">Microsoft Hotfix KB 2741477</a> は、VM をフェイルオーバークラスタに配置した後に仮想マシンにNICを追加できるようにします(詳細は「 <a href="#">Hyper-V ホストクラスタエラー</a> 」を参照)。
	<a href="#">DKCE サポートマトリックス</a> を参照	詳細は <a href="#">以下</a> を参照してください。
	<b>注記:</b> ターゲットスナップショット機能を使用するには、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 をインストールする必要があります。 <a href="http://www.microsoft.com/net">http://www.microsoft.com/net</a> からダウンロードしてください。	
ユーザ イン ター フェース	<a href="#">DKCE サポートマトリックス</a> を参照	MMC 3.0 - こちらからダウンロードしてください。 <a href="http://support.microsoft.com/kb/907265">http://support.microsoft.com/kb/907265</a>

**注記:** クラスタ内のすべてのサーバで同一バージョンのWindowsと同一バージョンのDataKeeperを実行してください。

SIOS DataKeeper Cluster Edition をインストールして設定する前に、以下の設定を確認してください。

- **重要:** DataKeeper を実行するすべてのサーバでローカル管理者権限を持ったドメインアカウントを使用することを推奨します。ローカルアカウントを使用している場合、ユーザ名およびパスワードは DataKeeper を実行するすべてのサーバで一致しなければなりません。これはすべてのエディションおよびすべてのプラットフォームに該当します。
- ファイル共有監視を設定してクォーラムモードマジョリティノードを変更するなど、Microsoftのベストプラクティスに従ってください。
- DataKeeperのフェイルオーバークラスタ登録は、各クラスタノードで起こる以下のイベントの60秒後に自動的に行われます。
  - o DataKeeper Cluster Editionのライセンスを、各クラスタノードにインストール。
  - o Windowsサーバのフェイルオーバークラスタ機能を、各サーバにインストール。
  - o Windowsサーバのクラスタ設定を作成。

## ローカルセキュリティポリシーの要件

Windowsサーバがドメイン内にない場合で、DataKeeperサービスをローカルシステムアカウントとして実行する場合、ローカルセキュリティポリシー設定 **[ネットワークアクセス: Everyone アクセス許可を匿名ユーザーに適用する]** を有効にする必要があります。

## 既知の問題

### SCVMM 2012

SCVMM 2012 で DataKeeper を使用する場合は、SCVMM 2012 SP1 を使用する必要があります。

### Windows Server 2012

**Windows Server 2012** に関連する問題および強化については、DataKeeper Cluster Edition テクニカルドキュメンテーションの「既知の問題」セクションの以下のトピックを参照してください。

- WSFC 2012 Failover Cluster Manager UI の欠陥
- WSFC 2012 の新しいファイルサーバタイプがサポートされない
- WSFC でのミラーの手動作成
- WSFC 2012 クラスタ作成 デフォルト設定の問題
- WSFC 2012 ファイル共有をファイルサーバリソースに対して作成できない



- WSFC 2012 Server Manager – 不正なボリューム表示
- WSFC 2012 Server Manager – DataKeeper「ディスク」がクラスタとして表示されない
- ミラー作成時に Windows Server 2012 デフォルト情報が見つからない
- Windows Server 2012 MMC スナップインクラッシュ
- Windows Server 2012 – クラスタ化された複数のファイルサーバの役割の同時移動が DataKeeper スイッチオーバーの失敗につながる場合がある
- Windows Server 2012 iSCSI ターゲットの役割がダイナミックディスクをサポートしない
- DataKeeper で iSCSI ターゲットを使用する

## DataKeeper Cluster Edition クイックスタートガイド

SIOS DataKeeper Cluster Edition を利用するにあたって、DataKeeper Cluster Edition クイックスタートガイドを参照してください。